

No	455	事務事業評価票	所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登
			所管課・係名	鏡農林水産事務所 農地係
			課長名	山崎 俊明

評価対象年度	平成 24 年度
--------	----------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	農村公園管理事業		会計区分		一般会計			
			款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	11
			事業コード(大-中-小)	04	—	11	—	36
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	第4章 豊かさにとぎわいのあるまち						
	施策の大綱(節)【政策】	豊かな農林水産業のまちづくり						
	施策の展開(項)【施策】	経営安定を目指した農業の振興						
	具体的な施策と内容	農村環境の整備						
事務事業の目的	農業者等農村在住者の健康増進並びに憩いの場を提供し、地域住民の連帯感の醸成及び豊かな人間性を培うとともに、青少年及び児童の健全な育成に寄与するため。							
事務事業の概要 (全体事業の内容)	地域住民が安全で安心して公園利用できるように、自治会に農村公園の管理委託を行う。管理委託期間は1年契約であり、作業実績報告委託料支払いと同時に上半期(9月)、下半期(3月)の2回提出する。 ・津口農村公園管理:津口区自治会へ委託。・碓原農村公園管理:碓原区自治会へ委託。・芝口農村公園管理:芝口区自治会へ委託。・北新地海浜公園管理:中区自治会へ委託。 公園内施設修繕。							
根拠法令、要綱等	・八代市農村公園条例 条例第138号 ・八代市農村公園条例施行規則 規則第75号 ・農村公園管理委託作業要項							
実施手法 (該当欄を選択)	全部直営	一部委託	● 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を選択)	義務である ● 義務ではない		
事業期間	開始年度	平成17年度(合併後)		終了年度	未定			

(Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容	
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
農村地域に居住する住民 自治会による農村公園管理委託	●公園内の植木剪定、施肥、草刈り及び除草 ●公園内清掃、トイレ清掃 ●公園内遊具施設や管理施設の破損箇所を報告、軽微な修繕や整地等の定期的作業 農村公園管理委託料 津口区自治会へ委託。
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)	・津口農村公園管理: 津口区自治会へ委託。 9月79,000円 3月30,000円 計109,000円 ・碓原農村公園管理:碓原区自治会へ委託。 9月30,000円 3月30,000円 計60,000円 ・芝口農村公園管理:芝口区自治会へ委託。 9月30,000円 3月30,000円 計60,000円 ・北新地海浜公園管理:中区自治会へ委託。 9月30,000円 3月30,000円 計60,000円
住民の健康増進や連帯感づくり等、利用しやすい公園の環境整備をする。また幼児や児童の健全育成の場、住民の憩いの場となるような安全で安心な公園づくりと管理を行う。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	
公園整備後、約26年の経過により施設の老朽化が目立っているため、予算を確保できるか課題である。	

コスト推移		24年度決算	25年度予算	26年度見込	27年度見込	28年度見込	
総事業費	(単位:円)	2,705,855	2,451,000	5,610,000	5,610,000	5,610,000	
事業費(直接経費)	(単位:円)	605,855	351,000	3,510,000	3,510,000	3,510,000	
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	605,855	351,000	3,510,000	3,510,000	3,510,000	
人件費		24年度	25年度見込	26年度見込	27年度見込	28年度見込	
概算人件費(正規職員)	(単位:円)	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	
正規職員従事者数	(単位:人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
臨時職員等従事者数	(単位:人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の活動量・実績の数値化	指標名	単位	24年度実績	25年度見込	26年度計画	27年度計画	28年度計画
	① 4地区農村公園内清掃、トイレ清掃、草刈り及び除草、公園巡回等(年間合計実績報告書より)	回	273	288	288	288	288
	②						
	③						
〈記述欄〉※数値化できない場合							

もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名		指標設定の考え方	単位	24年度実績	25年度見込	26年度計画	27年度計画	28年度計画
	①	安全で安心して利用しやすい公園づくりと管理	健康増進や憩いの場として適した公園づくりのため清掃等管理を行う	%	94.8	100	100	100	100
	②	施設維持管理上の要望件数	地域からの要望が無くなれば、100%の満足度と捉えられる	件	0	2	2	2	2
	③								
〈記述欄〉※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価					
事業実施の妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	B	(現状分析等) ・管理については自治会に委託をしている。 ・施設の管理基準が旧町村単位で異なっている。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当ですか(国・県・民間と競合していませんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A	
活動内容の有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	(現状分析等) ・委託先の自治会員や住民が健康増進等の目的で公園利用の機会が多い。そのため、業務以外でも清掃や安全確認が行われている。 ・少子高齢化による公園利用の年齢層が変化しているため、幅広い年齢層が利用できるような対策が必要。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	
実施方法の効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B	(現状分析等) ・現在は安価な委託料で自治会員や住民で清掃や草刈り等の維持管理が行われている。民間委託を導入すれば現在以上に人件費によるコスト負担が考えられるが、施設の老朽化による修繕料は負担増が見込まれる。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費の削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありますか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善					
今後の方向性 (該当欄を選択)	不要(廃止) 民間実施 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 市による実施(要改善) ● 市による実施(現行どおり) 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 現行どおりの予算内容で、施設修繕を行い委託については自治会にお願いをする。民案委託するよりもコストが安価であると考えられ、住民で公園を管理することで愛着が生まれ、良好な公園づくりが行われやすい。			
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 委託先の自治会は高齢者が多い。そのため、自治会自らの主体的な取り組みによって後継者を養成していくことが課題となる。市は現行どおりの委託を受けてもらえるように自治会役員にお願いをしていくことで、良好な公園づくりがもたらされていくことになる。				
改革改善による期待成果					
成果	コスト			外部評価の実施	実施年度
		削減	維持	増加	
	向上				決算審査特別委員会における意見等 (委員からの意見等)
	維持				
低下					

No	454	事務事業評価票		所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登					
				所管課・係名	鏡農林水産事務所 農林水産係					
				課長名	山崎 俊明					
評価対象年度	平成 24 年度		(Plan) 事務事業の計画							
事務事業名	鏡さわやか農園管理運営事業			会計区分		一般会計				
				款項目コード(款-項-目)		05	—	01	—	11
				事業コード(大-中-小)		04	—	11	—	35
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)		第4章 豊かさにとぎわいのあるまち							
	施策の大綱(節)【政策】		豊かな農林水産業のまちづくり							
	施策の展開(項)【施策】		経営安定を目指した農業の振興							
	具体的な施策と内容		農村環境の整備							
事務事業の目的	農地を貸付し、農作物の栽培を体験することにより、自然や農業に対する理解が深まる。									
事務事業の概要 (全体事業の内容)	八代市が貸主となって、自然に触れ合いたいという自然志向、野菜や花などを栽培してみたいという農作業体験志向の農業者以外の人達を対象として、一区画33㎡(全58区画)を貸付ける。									
根拠法令、要綱等	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律。八代市鏡さわやか農園条例。									
実施手法 (該当欄を選択)	● 全部直営		一部委託		全部委託		法令による実施義務 (該当欄を選択)		義務である ● 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前			終了年度	未定				

(Do) 事務事業の実施										
評価対象年度の事業の内容										
対象 (誰・何を)					内容 (手段、方法等)					
自然志向、農作業体験志向の農業者以外の市民					八代市広報誌にて利用者を募り、一区画33㎡(全58区画)を貸し出す。					
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)					貸付料金:1区画年間5,000円 募集期間:4月1日から4月20日 貸付期間:5年間を限度 貸付区画:原則として1区画だが、残余が生じたときは、希望者は複数できる。 耕運機講習:5月上旬~中旬					
農作物の栽培をしていない方が農業体験をする事により、自然や農業に対する理解を深める。										
事業開始時点からこれまでの状況変化等										
平成12年開園以来、旧鏡町では空き区画があり維持管理に時間を必要としたが、合併後は八代市内全域から募集を行っているため、空き区画も少なく維持管理の省力化が図られている。また、平成20年に耕運機を導入し毎年講習会を行っている。										
コスト推移					24年度決算	25年度予算	26年度見込	27年度見込	28年度見込	
総事業費 (単位:円)					629,778	645,000	650,000	650,000	650,000	
事業費(直接経費) (単位:円)					279,778	295,000	300,000	300,000	300,000	
財源内訳	国県支出金				0	0	0	0	0	
	地方債				0	0	0	0	0	
	その他特定財源				269,240	265,000	290,000	290,000	290,000	
	一般財源				10,538	30,000	10,000	10,000	10,000	
人件費					24年度	25年度見込	26年度見込	27年度見込	28年度見込	
概算人件費(正規職員) (単位:円)					350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	
正規職員従事者数 (単位:人)					0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
臨時職員等従事者数 (単位:人)					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の活動量・実績の数値化	指標名				単位	24年度実績	25年度見込	26年度計画	27年度計画	28年度計画
	①	区画の利用率			%	95	100	100	100	100
	②	維持管理の時間			時間	330	330	300	300	300
	③	広報誌やホームページによる募集・周知			回	1	2	2	2	2
<記述欄>※数値化できない場合										

もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名		指標設定の考え方	単位	24年度実績	25年度見込	26年度計画	27年度計画	28年度計画
	①	区画の利用率	周知方法の改善により利用者が増えれば、収入が増加するだけで無く、自然や農業に対する理解者が増える。	%	95	100	100	100	100
	②	維持管理の時間	維持管理に費やす時間が少なくなれば、他の事務従事に取り掛かる事ができる。	時間	330	330	300	300	300
	③								
〈記述欄〉※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価					
事業実施の妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A	(現状分析等) 農業への関心が寄せられている現在、毎日口にするものを自分で作ることができ、安心安全を求める昨今のニーズにも応えられる。法律上は、第三者が事業主体になることは可能であるが、民間の農園が無いため、今後も行政が取り組むべき事業である。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当ですか(国・県・民間と競合していませんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A	
活動内容の有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	(現状分析等) 合併後は、八代市内全域からの利用が可能となった事で、利用者が増加。利用者の趣味や健康作りに役立っている。ただ、募集期間や貸付期間については現状にそぐわない部分もあるため見直す必要がある。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	
実施方法の効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	(現状分析等) 外部への委託の検討は法律上可能であるが、現在事業主体が行政であるため、安価な貸付料等の理由で申込みをする利用者がいる。また、耕運機・鍬などの道具・堆肥置場・トイレ・休憩所を備えており、利用者の声として大変好評である。外部委託した場合、貸付料の見直しが必要となれば、申込者・収入共に減少する可能性も出てくる。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費の削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありますか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善				
今後の方向性 (該当欄を選択)	不要(廃止) 民間実施 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 市による実施(要改善) ● 市による実施(現行どおり) 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 参加資格の拡充により利用が高まった。耕運機・鍬などの道具・堆肥置場・トイレ・休憩所の設備がある中で、安価な料金で農作物の栽培が出来るとして利用者の声は大変好評である。会社を退職し趣味で家庭菜園をしたいとして利用している方が多く、農園での人や植物との触れ合いを楽しみにしている方もいる。また、近くにこのような農園が無いことも利用率の高さとして考えられる。今後、さらに利用者が利用しやすいように条例を改正する事が必要である。もし、外部委託した場合は貸付料の見直しが必要となれば、申込者・収入共に減少する可能性も出てくるものと思われる。		
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 八代市のホームページ等も活用し利用率の向上に努める。また、条例等を精査し農園の参加条件を緩和する事も必要であり、それにより収入増加も見込まれる。さらに、土壌改良を行えば多種多様な農産物の作付が可能となり、利用される方のさまざまなニーズに応えられるよう農産物作りの指導者による研修会を開催する事も出来る。			
改革改善による期待成果				
成果	コスト			外部評価の実施 決算審査特別委員会における意見等
	削減	維持	増加	
	●			
外部評価の実施				無
実施年度				
(委員からの意見等)				